

若鮎の子

新年明けまして
おめでとございませう。

二〇一八年 元旦

平成三十年新たな年を迎えました。

冬休みの年末・年始におかれましてはご家族や地域の皆さまと子ども達も、様々な行事やそれぞれの家庭のお正月を満喫されたようで、ステキな始業式を迎えることができました。子ども達の健全な育成に日頃よりご気づかいただいた地域の皆様や子ども会、保護者の皆様に改めて心より感謝申し上げます。

さて、二学期の終業式でお正月の「正」の文字について子ども達にお話させていただきました。

「正」という文字は「一」に「止る」を意味しその「一」とは「自分」のことであるという。

つまり、お正月は自分が自分らしく生きてこれたかという振り返りと、今年の自分の生き方を年頭に誓つという意味を持つということです。このお話は相田みつをの著者から引用させて頂きました。

私もまったく共感します。競争し合うのでなく、他者と比べるのではなく、一人一人の子が自分らしい個性を大切に育ててほしいと切に願います。 志

書初め大会



転入生です



ビッグニュースです。先週の金曜日から安波小に新たなお友達が加わりました。宜野湾市の長田小学校より四年生と六年生の男子2名の兄弟です。イケ面であり雰囲気がありますね。聞くところによると、子ども達は夏休みや冬休みにも面識があったようです。

うです。今年は男子は静真くん一人だったので静真君にとっては最高の味方ができた気分ではないでしょうか？右の写真、最高の笑顔ですね。卒業までこの笑顔を絶対に絶やさないようみんなで支え合っていきましょう。地域の皆様も、橋(たちはな)家のご家族一同ともよろしくお願いたします。

四年 橋 寿雲(たちはな) 写真右
六年 橋 琉雲(たちはな) 写真左

新年抱負の一字



森岡 和香
「喜」の「口」は口をあけて笑つてという意味があるそうです。自分もほかの人もみんなが楽しく、喜んでいられる1年にしたいです。



鈴木 あやめ
4月から新一年生が3名になります。私たちは六年生になるので世話しなければいけません、どんな大変なことがあっても先輩としてあります。



賀数 ゆめ
3月に六年生を送る会があります。みんなを「楽しく」させてあげたいです。またケーキを作っても楽しませたいです。

「僕の主張・私の意見」

みんなながいたから成長できた

国頭村立安波小学校 5年 賀数 ゆめ

二学期楽しかったことは、となりの小学校といっしょに首里城に行ったことです。また、少しだけ自分にきびしくできました。となりの小学校の安田小とは識名園にも行きました。識名園の中をおしゃべりしながら歩いたり、小走りしながら回ったことも楽しかったです。安田小といっしょにいると、もっと楽しくなります。心の成長は少しだけ自分にきびしくできたことです。運動会の一輪車の練習であきらめそうだったけど、お姉ちゃんといっしょにしたので乗れるようになりました。人の支えがあって成長できました、ありがとうございます。今年も、もう少し自分にきびしくして漢字検定を合格したいです。また、校長先生にも少しやさしくしたいです。

平成30年1月5日 琉球新報

ゆめさんの投稿で、安波小全児童が新聞記載されたことになりました。